



一般社団法人 日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butstryu.or.jp

News Release

令和4年2月9日

『令和3年度物流業界研究セミナー』を開催

(一社)日本物流団体連合会(池田潤一郎会長)は、1月15日、ハービス HALL において「第4回物流業界研究セミナー大阪」を会員企業21社と共同で開催し、81名の学生が参加、2月5日は東京都立産業貿易センター浜松町館において「第8回物流業界研究セミナー東京」を22社と開催し、学生151名が参加した。また、オンラインにて1月29日に開催した「第2回物流研究 Web セミナー」の初日には29社の企業が参加し、約280名の学生が参加、2日目(2月8日)には27社参加し、約300名の学生が参加した。

大阪・東京対面開催では、学生が各企業のブースを自由に訪問しながら、各社の会社概要や事業内容の説明を受けることを通じ、陸・海・空・倉庫・フォワーダー等、多業種で構成される物流企業の役割や使命等、様々な情報を収集した。また、参加各社の説明と並行して行われた伊勢川事務局長による『物流業界の現状と未来 求める人材像』と題した講演会や、バニラックス LLC による講演会『With コロナ、就活支援のプロが教える、知っておくべき5つのこと』では、熱心にメモを取りながら聴講する学生の姿が見られた。続いてパネルディスカッションでは、会員企業の若手社員で構成された「物流いいところみつけ隊」のメンバーにより、物流業界を目指した志望動機や仕事のやりがい、経験談等が披露され、生の声を学生に伝える機会となった。また、若手社員による「なんでも相談コーナー」にも多くの学生が訪れ、開始から最終クールまで会場に残る学生も多く、参加学生の積極的な姿勢が見られた。

コロナ禍の中で、対面方式による開催での参加学生は例年と比べ少なかったものの、対面を重視する会員企業や学生から、実態や熱意がリアルに伝わり距離が縮むなどの意見もあり、対面で開催する価値と意義を再認識できた。

Web 開催では、長谷川理事長の開会挨拶に続き、伊勢川事務局長により当日参加する各社の特徴等を含めた講演会を行った。その後、会員企業によるセミナーを、毎回5~8社が別回線にて実施、全9クールを行い、学生は自由に企業ルームへ入室し様々な情報を収集した。特別プログラムとして「物流いいところみつけ隊」による Q&A セッションを実施し、また、対面開催時のものを編集録画したパネルディスカッションが配信され、2日間で約580名の学生が視聴した。

本セミナーは、若い世代に対し、参加した物流連会員企業各社が会社概要や事業内容の説明を行うことで、物流業の社会的重要性や先進性について、業界の理解を幅広く深められる機会を提供することを目的とし、国土交通省の後援を得て実施している催しである。今後も参加学生、参加企業からのアンケートによる分析を行い、今回のセミナーに関する課題を抽出した上で、次年度以降の開催に向け、鋭意検討していく方針である。

以上

事務局：原



受付（大阪会場）



伊勢川事務局長講演会（東京会場）



会場の様子（東京会場）



パネルディスカッション（東京会場）



企業ブース（大阪会場）



Webセミナーの様子